

# 空き家と余暇志向の関係性からみた 地域コミュニティの持続性に関する研究 その3

日大生産工 (院) ○井山智裕 日大生産工 (院) 山本寿晃  
日大生産工 北野幸樹

## 1. 研究の背景と目的

本稿は、前稿(その2)に続く一連の研究である。前稿では、空き家対策について、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県内各市区町村を対象とし、地域居住者の現在のまちづくりに対する活動や空き家に対する取り組みを把握し、空き家の実態、自治体の連携等について整理した。本稿では、地域居住者の空き家に対する意識、まちづくりに関する意識と余暇活動の関係性について整理し報告する。

## 2. 調査概要

調査概要(調査対象・調査内容)は前稿(その2)と同様である。

## 3. 余暇活動調査(表1)

調査方法は、まず余暇活動を自己中心性の高いものから、集団活動性の高いものへと、12分類75項目、生活空間を「自宅」(自分の家や庭)「地域内」(〇〇町等の自身が居住する地域内)「区・市内」(地域内ではないが、自身が居住する市内もしくは区内)「都・県内」(区・市内ではないが、自身が居住する都・県内)「都・県外」(自身が居住する都・県以外の場所)「不特定」(活動の場所を特定できない)の5つに分類する。この分類を

基に、余暇活動を行う場所はどこか、活動を共にする人数、余暇活動に費やす時間量(消費時間量)及び活動頻度はどのようなかについて、アンケート調査を実施した。本研究では、地域居住者の諸活動を広い範囲で捉え、日常の生活全体の中での余暇活動と空き家に対する意識、まちづくりに対する意識の関連性をマクロな視点で把握することを目的としているため、余暇活動に費やす活動時間・活動頻度から1人1日当たりの平均消費時間量を算出し、これを余暇活動時間量としている。

## 4. 生活空間別余暇活動時間量(表2)

各地域の生活空間別余暇時間量についてその傾向を示す。多くの地域において、余暇活動量が最も多い生活空間は「自宅」である。余暇活動新型コロナウイルス蔓延下における調査であったことも理由として挙げられる。

表2 生活空間別余暇活動時間量(分)

	有効回答数	自宅	地域内	区・市内	都・県内	県外	不特定	総時間量
厚木市	108	51.26	3.85	9.43	6.25	6.33	0.29	77.41
伊勢崎市	4	0.50	0.00	4.50	0.00	10.00	0.00	15.00
宇都宮市	43	72.46	13.18	15.83	3.44	3.20	0.56	108.67
葛飾区	29	48.61	12.24	11.79	3.49	9.93	5.87	91.93
川崎市	31	93.74	20.67	6.79	4.77	4.47	0.06	130.51
佐倉市	21	60.05	3.24	4.00	1.33	1.90	0.00	70.52
日立市	38	14.95	17.41	9.54	3.92	6.55	0.88	53.24
八千代市	10	56.80	2.40	3.20	0.80	0.00	12.00	75.20
全体	284	54.11	9.62	9.68	4.43	5.55	1.34	84.72

(注) 表中の数値は、1人1日当たりの総余暇時間量(分)を表す。

表1 余暇活動分類・項目

分類	番号	項目	分類	番号	項目	分類	番号	項目	分類	番号	項目
創作	1	絵を描く	スポーツ	25	運動をする(対人)	休息	48	休息する	旅行	69	ドライブをする
	2	彫刻をする		26	運動をする(個人)		49	ちろ寝する		70	旅行をする
	3	音楽を演奏する		27	トレーニングをする		50	入浴する(日常的なものを除く)		71	宿泊をする
	4	文芸的創作をする		28	軽い運動をする		51	お化粧をする		72	団体活動をする
	5	手工芸をする		29	子供の遊び		52	入院をする(ドック入り)		73	善行活動をする
	6	日曜大工をする		30	名のない子供の遊び		53	マッサージ・エステ等に行く		74	団体スポーツをする
	7	園芸をする		31	散歩をする		54	家族との電話		75	サークル活動をする
	8	お茶・お花をする		32	スポーツ観戦をする		55	子供の相手			
	9	和洋裁をする		33	ショッピング		56	おやつ・ティータイム			
	10	コレクションをする		34	ウィンドウショッピング(見て歩きなど)		57	ホームパーティー			
	11	陶芸をする		35	ギャンブルをする		58	ペットと遊ぶ			
教育・文化	12	写真制作をする	ゲーム	36	パズルをする	家族交流	59	会話を楽しむ	団体活動		
	13	パソコンで創作活動をする		37	麻雀をする		60	立ち話をする			
	14	札撰をする		38	ゲームをする		61	電話をする(家族以外と)			
	15	学習をする		39	スマートフォンゲームをする		62	編りをする(交際として)			
	16	読書をする		40	カードゲームをする		63	創作歌等を演ずる(交際として)			
	17	展示物を見る		41	宝くじ・サッカーくじを引く		64	手帳を書く・読む			
	18	動物を見る		42	テレビを見る・ラジオを聞く		65	LINE・e-mailを書く・読む			
	19	雑誌を見る		43	音楽を聴く		66	酒を飲む			
	20	映画・演劇・音楽・コンサートを観賞する		44	新聞・雑誌を読む		67	食事をする(日常的なものは除く)			
	21	カラオケ		45	インターネットを利用する		68	喫茶をする			
	22	語学学習をする		46	SNSを利用する(twitter,instagram等)						
23	パソコンを習う	47	動画を見る(youtube,n Netflix等)								
24	オンライン講座を受ける										

Study on Sustainability from the Viewpoint of Relationship between  
Vacant Houses and Leisure Activities Part 3

Tomohiro IYAMA, Jukou YAMAMOTO and Koki KITANO

### 5. 活動分類別の活動時間量 (表3,表4,表5)

余暇活動時間量の平均値が多い活動は、「マスメディア」「創作」「スポーツ」「旅行」の順となっている。地域ごとの各項目における余暇活動時間量 (表 3) を見ると、一定以上の有効回答数を得られている地域において、「マスメディア」の時間量が最も多い。他の分類の余暇活動時間量については、地域によってばらつきが見られる。特に、「旅行」「団体活動」の時間量では、地域によるばらつきが多い。一方で、「スポーツ」「創作分野」においては、おおむねいずれの地域においても類似した傾向が見られる。

性別ごとの各項目における余暇時間量 (表 4) を見ると、分類ごとに異なる傾向を示していることがわかる。男性が行う余暇活動量の平均値が多い分類は、「マスメディア」「スポーツ」「創作」「旅行」「教養・文化」「ゲーム」「休息」の順となっている。女性が行う余暇活動量の平均値が多い分類は、「マスメディア」「創作」「スポーツ」「教養・文化」「旅行」「交際」「休息」の順となっている。性別によって、各項目における時間量のばらつきが見られる。地域ごとの活動時間量では似た傾向を示していた、「スポーツ」「創作」の分類において、特に大きな傾向の差が見られる。

生活空間ごとの各項目における余暇活動時間

量 (表 5) では、分類ごとに異なる傾向が見られる。「創作」では、生活空間が居住地から離れれば離れるほど時間量が減少していく傾向が見られる。「教養・文化」では、「自宅」における時間量が最も多いが、居住地から離れた美術館・図書館といった教養・文化施設で活動を行う人もすくなくないため、「地域内」での時間量よりも「市内」「県内」での時間量が多い。「スポーツ」では「市内」「県内」における時間量が多く、日常的に通える範囲に位置する体育館や公園で活動する人が多い。「ショッピング」では、「市内」における活動量が最も多く、日常的な買い物の多くが「市内」で行われていることが伺える。「ゲーム」では、「自宅」における時間量が最も多い。「市内」においてもパチンコ、アーケードゲームといった活動が行われているが、比較的時間は少ない。「マスメディア」では、「自宅」での活動がほとんどであり、それ以外の生活空間で行われる活動時間量はわずかである。「休息」では、「自宅」での時間量が最も多い。銭湯で行われる入浴を含む、「県内」「地域内」での時間量も少なくない。「家族交流」「交際」では、「自宅」がほとんどであり、それ以外の生活空間における時間量は僅かであった。「飲食」では、「自宅」が最も多く、次いで「市内」「県内」「地域内」「県外」の順に時間量が

表 3 地域ごとの各分類における余暇活動時間量 (分)

	有効回答数	創作	教養・文化	スポーツ	ショッピング	ゲーム	マスメディア	休息	家族交流	交際	飲食	旅行	団体活動	全分類
厚木市	112	9.50	4.78	10.05	3.93	5.48	22.86	1.96	0.57	4.04	1.73	9.88	1.33	76.11
伊勢崎市	4	4.50	9.00	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.00
宇都宮市	43	15.60	9.61	15.44	3.16	4.45	37.91	10.33	0.51	5.23	2.19	10.90	1.11	116.44
葛飾区	30	13.40	7.28	10.79	0.53	2.00	31.47	0.00	0.27	2.67	0.15	1.07	15.78	85.41
川越市	31	15.08	19.00	15.67	4.84	3.68	44.77	4.19	3.61	6.23	4.52	3.29	8.69	133.57
佐倉市	21	13.33	2.10	7.71	0.00	0.00	29.24	3.43	0.00	0.38	5.14	0.76	8.57	70.67
日立市	41	11.71	6.40	13.55	2.10	5.27	53.27	6.93	5.49	5.86	4.53	11.02	2.68	128.79
八千代市	10	8.00	0.80	19.60	0.00	30.00	0.00	4.80	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80	68.00
合計	292	11.86	7.21	11.84	2.84	5.13	32.03	4.10	1.48	4.10	2.49	7.45	4.47	94.99

表 4 性別ごとの各分類における余暇活動時間量 (分)

	有効回答数	創作	教養・文化	スポーツ	ショッピング	ゲーム	マスメディア	休息	家族交流	交際	飲食	旅行	団体活動	全分類
男性	145	8.99	6.39	15.67	3.90	5.55	36.98	5.14	0.39	2.68	3.15	8.99	5.71	103.54
女性	147	13.13	8.03	8.46	1.78	4.71	27.14	3.07	2.54	5.51	1.84	5.94	3.23	85.40
合計	292	11.86	7.21	11.84	2.84	5.13	32.03	4.10	1.48	4.10	2.49	7.45	4.47	94.99

表 5 生活空間ごとの各分類における余暇活動時間量 (分)

n=284	創作	教養・文化	スポーツ	ショッピング	ゲーム	マスメディア	休息	家族交流	交際	飲食	旅行	団体活動	全分類
自宅	6.67	4.86	1.59	0.00	4.52	25.35	3.37	1.25	3.22	1.80	0.00	0.75	53.37
地域内	2.18	0.18	4.25	0.17	0.08	0.23	0.14	0.17	0.52	0.24	0.13	1.33	9.62
市内	0.65	0.39	4.09	2.08	0.34	0.21	0.07	0.02	0.20	0.33	0.08	1.21	9.68
県内	0.58	0.63	1.37	0.31	0.00	0.00	0.31	0.07	0.00	0.30	1.37	0.23	5.16
県外	0.02	0.20	0.29	0.42	0.00	0.14	0.00	0.04	0.00	0.12	3.23	1.08	5.55
不特定	0.08	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.98	0.00	1.34
合計	10.17	6.26	11.76	2.99	4.95	25.93	4.01	1.55	3.94	2.80	5.80	4.59	84.73

## Study on Sustainability from the Viewpoint of Relationship between Vacant Houses and Leisure Activities Part 3

Tomohiro IYAMA, Jukou YAMAMOTO and Koki KITANO

減少しており、多様な生活空間において活動が行われている。「旅行」では、全分類の中で唯一「県外」での時間量が最も多い。「団体活動」では、全分類の中で、最も時間量のばらつきが大きい。「地域内」「市内」「県外」の順に活動量が減少しており、上記3つの生活空間においてはいずれも1人1日あたり1分以上活動が行われている。「自宅」「県内」での時間量も少なくないため、多様な生活空間において活動が行われることがわかる。

## 6. 活動を共にする人数 (表6,表7,表8)

余暇活動を共にする人数が多い活動分類は、「団体活動」「スポーツ」「創作」「教養・文化」「飲食」「交際」「家族交流」「旅行」「ショッピング」「ゲーム」「休息」「マスメディア」の順となっている。地域ごとの平均人数をみると、様々な傾向がみられ、ばらつきが見られる。また、多くの分類において、性別ごとの傾向の違いは見られないが、「団体活動」における平均人数では、男性は女性に比べて多い傾向が見られる。

## 7. 空き家対策への意識と余暇活動 (図1.図2)

「自治体が主体となって行う空き家対策について、関心がありますか」及び「地域居住者が主体となって行う空き家対策について、関心がありますか」に対する回答と余暇活動時間量の関係性

の視点から、空き家に対する意識と余暇活動の関係性を検討する。設問に対する回答を基に、回答者を関心層、無関心層に分類し、それぞれの余暇活動時間量の平均値を整理し、その傾向と関係性について整理する。

- 1) 自治体主体の空き家対策への関心  
「教養・文化」「休息」「交際」「団体活動」の分類において、無関心層の時間量よりも関心層の平均時間量の方が多い傾向が見られる。「ゲーム」「旅行」においては、関心層の時間量よりも無関心層の平均時間量の方が多い傾向が見られる。「創作」「スポーツ」「マスメディア」「家族交流」「飲食」においては、関心の有無に関わらず、1人1日当たりの平均活動時間量差が1分未満であり、同様な傾向を示している。
- 2) 地域居住者主体の空き家対策への関心  
「交際」「団体活動」の分類において、無関心層の時間量よりも関心層の平均時間量の方が多い傾向が見られる。「スポーツ」「ショッピング」「ゲーム」「マスメディア」「休息」においては、関心層の時間量よりも無関心層の平均時間量の方が多い傾向が見られる。「創作」「教養・文化」「家族交流」「飲食」「旅行」においては、関心の有無に関わらず、1人1日当たりの平均活動時間量差が1分未満であり、同様な傾向を示している。

表6 地域ごとの各分類における活動を共にする人数の平均値 (人)

	有効回答数	創作	教養・文化	スポーツ	ショッピング	ゲーム	マスメディア	休息	家族交流	交際	飲食	旅行	団体活動
厚木市	112	5.54	2.31	9.65	2.40	1.00	1.26	1.71	1.80	1.00	3.33	2.37	66.22
伊勢崎市	4	5.00	2.00	4.00	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—
宇都宮市	43	2.72	1.27	7.30	1.75	2.80	1.05	1.00	6.33	1.63	2.40	2.50	20.60
葛飾区	30	5.86	8.00	2.25	2.00	1.00	1.00	—	2.00	2.00	3.00	2.00	39.46
川越市	31	4.31	3.23	6.50	2.00	1.00	1.33	1.14	1.86	4.83	2.25	2.67	13.29
佐倉市	21	1.00	1.20	4.00	—	—	1.20	1.00	—	2.00	2.00	2.00	16.00
日立市	41	3.80	5.50	7.60	2.67	2.14	1.35	1.57	2.00	3.89	4.00	2.93	18.15
八千代市	10	2.75	20.00	4.67	—	1.00	—	3.00	—	—	—	—	11.00
合計	292	4.27	3.52	7.20	2.32	1.64	1.21	1.46	2.44	3.00	3.20	2.58	28.14

表7 性別ごとの各分類における活動を共にする人数の平均値 (人)

	有効回答数	創作	教養・文化	スポーツ	ショッピング	ゲーム	マスメディア	休息	家族交流	交際	飲食	旅行	団体活動
男性	145	4.03	2.77	7.97	2.46	1.94	1.10	1.38	1.20	3.60	3.52	2.71	30.61
女性	147	4.44	4.22	4.95	2.20	1.00	1.33	1.54	2.75	2.67	2.79	2.35	11.43
合計	292	4.27	3.52	7.20	2.32	1.64	1.21	1.46	2.44	3.00	3.20	2.58	28.14

表8 生活空間ごとの各分類における活動を共にする人数の平均値 (人)

n=184	創作	教養・文化	スポーツ	ショッピング	ゲーム	マスメディア	休息	家族交流	交際	飲食	旅行	団体活動
自宅	1.95	1.18	2.00	—	1.50	1.10	1.05	2.22	2.31	1.78	2.60	2.00
地域内	5.72	5.00	4.24	1.50	2.50	1.00	2.00	4.00	3.00	4.25	1.60	20.07
市内	16.17	7.63	7.91	2.56	1.20	1.00	3.00	3.50	5.17	4.08	2.00	15.69
県内	7.20	4.25	15.64	2.33	—	—	2.33	1.00	—	2.33	2.33	30.00
県外	1.00	1.83	7.25	2.20	—	1.00	—	4.00	—	4.00	3.14	105.33
不特定	12.33	—	3.80	—	—	—	3.00	—	—	—	2.80	—

## Study on Sustainability from the Viewpoint of Relationship between Vacant Houses and Leisure Activities Part 3

Tomohiro IYAMA, Jukou YAMAMOTO and Koki KITANO

自治体主体による空き家対策における関心層、無関心層ごとの分類別余暇活動時間量と地域居住者による空き家対策における関心層、無関心層ごとの分類別余暇活動時間量を比べると、両分析に共通して、「団体活動」は、関心層による時間量が多い傾向を示しており、「ゲーム」は無関心層による時間量が多いという傾向を示している。「創作」「家族交流」「飲食」では、両分析において共通して、関心層と無関心層の1人1日当たりの平均活動時間量差が1分未満である。「休息」「教養・文化」「スポーツ」「ショッピング」「ゲーム」「マスメディア」においては、それぞれ異なる傾向を示している。

図1 自治体による空き家対策に対する関心層、無関心層ごとの分類別余暇活動時間量

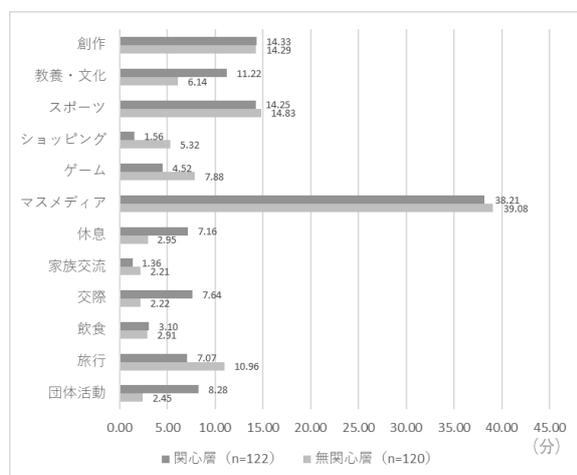
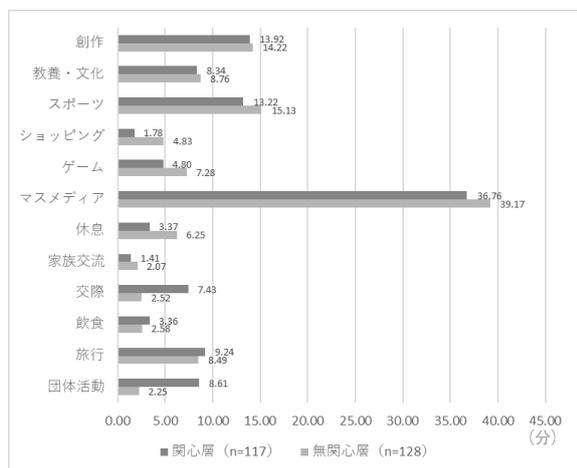


図2 地域居住者による空き家対策に対する関心層、無関心層ごとの分類別余暇活動時間量



## 8. まとめ

本研究では、性格の異なる8地域における余暇活動の実態と特性についての概略を捉えるとともに、地域居住者の余暇活動と空き家に対する意

識の関係性について検討したものである。その傾向的特性を以下に整理する。

- 1) 全ての地域において、余暇活動時間量の平均値が多い活動は、「マスメディア」「創作」「スポーツ」「旅行」の順となっている。
- 2) 分類ごとの余暇活動時間量は、地域、性別、活動が行われる生活空間によって傾向が異なっている。特に、各生活空間における、分類ごとの活動時間量では大きく異なる傾向を示している。
- 3) 活動を共にする人数については、分類ごとのその傾向を以下に整理する。
  - ① 個人活動 (平均2人未満)  
「ゲーム」「マスメディア」「休息」
  - ② 複数人活動 (平均2人以上、3人未満)  
「ショッピング」「家族交流」「旅行」
  - ③ 少人数活動 (平均3人以上、10人未満)  
「創作」「教養・文化」「交際」「飲食」
  - ④ 大人数活動 (平均10人以上)  
「団体活動」

4) 各分類の余暇活動時間量と、空き家対策に対する関心との関係性では、関心の有無に伴う、時間量の様々な傾向が見られた。自治体主体による空き家対策、及び地域居住者主体による空き家対策における分析では、共通して関心層による「団体活動」の平均活動時間量が多く、無関心層による「ゲーム」の平均活動時間量が多いという傾向が見られた。

## 参考文献

- 1) 井山智裕,北野幸樹: 空き家と余暇志向の関係性からみた地域コミュニティの持続性に関する研究その1, 第53回日本大学生産工学部学術講演会, pp. 403~404, 2020. 12
- 2) 総務省行政評価局: 空き家対策に関する実態調査(平成31年度9月)
- 3) 総務省統計局: 平成30年住宅・土地統計調査 住宅数概数集計 結果の概要(平成31年4月26日)
- 4) 内閣府ホームページ: 内閣府ホーム>内閣府の政策>共生社会政策トップ>高齢社会対策>高齢社会白書>平成30年版高齢社会白書>1 高齢社会の現状と将来像
- 5) 北野幸樹,川岸梅和,杉本弘文: 時間的・空間的側面からみた余暇活動の動向と特性について—近隣余暇関連施設に関する研究—その1, 日本建築学会計画系論文集 第487号, pp. 167~176, 1996. 9, その2, 日本建築学会計画系論文集 第498号, pp. 153~159, 1997. 8, その3, 日本建築学会計画系論文集 第628号, pp. 1221~1229, 2008. 6